

大牟田市立天領小学校
学 校 通 信
令和5年8月24日
12号(文責:校長)

ムクロジ



合い言葉は「苦しい時が、伸びている時」 新たな挑戦をしよう!

例年より短い夏休みが終わりました。どんな夏休みでしたか? 今日、元気に登校してきた子ども達は、一回り大きくたくましくなった様と感じました。大きな事故や事件の連絡もなく、今日を迎えられたことを嬉しく思います。ご家庭でのあたたかい見守り、本当にありがとうございました。

今日からいよいよ2学期です。2学期は一番長い学期になり、大きな学校行事もあります。気候も良くなり、学習、スポーツ、芸術、文化などにも落ち着いて取り組めるのも特徴です。子ども達が自分なりの目標を持ち、挑戦する毎日を送ることができるよう、職員一丸となって取り組んで参ります。「苦しい時が、伸びている時」を合い言葉に、飛躍する2学期にしていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

思い出にのこる「盆踊り大会」になりました。

19日(土)は天領校区の盆踊り大会でした。盆踊りのコンテストや福引き、ニューススポーツ等があり大変賑わいました。天領小PTAも5つの食バザーを担当し、盆踊りを盛り上げてくださいました。「全ては子供達の笑顔のために」と、計画や準備、買い出しや当日の販売、後片付けまで行っていただき、本当にありがとうございました。おかげで、夏休み最後の楽しい思い出をつくることができました。

コロナに阻まれ久々の開催でしたので、経験者が少ない中での開催でしたが、PTA役員の皆様のご理解とご協力のおかげで、大盛況で終えることができました。今後も学校や地域の行事等でお世話をおかけすることもありますが、どうぞよろしくお願いいたします。



溝上のつぶやき・・・No.6

私の今年の夏休みは、どこかへ出かけることもなく、普通の日常が続いた日々でした。でも、14年ぶりの嬉しい再会がありました。

吉野小で5、6年生を担当した時の男の子が、私が天領小に勤務していることをホームページで見つけ、学校に電話をかけてくれました。会う約束をして、14年ぶりの再会。立派な青年になっていて驚きました。

彼の小学生の時の将来の夢は医者になること。それは今も変わっていませんでした。でも、国立大の医学部への挑戦は難しく、失敗を繰り返す中で、逃げ出したり腐ったりしたこともあったようです。それでも思い直し、医者への道を切り開こうと、外国の大学の医学部を受験し、単身で外国に渡っているということでした。夏休みで日本に帰国したので、私に連絡を入れてくれたという訳です。「やっと道が開けてきたので、先生に報告できると思って連絡しました。上手いかない時は、自分のプライドが邪魔して誰とも会いたくありませんでした。」とキラキラした笑顔で伝えてくれました。

卒業アルバムを見ながら昔話に花を咲かせ、食事をしての3時間ほどの再会でしたが、教え子の頑張りに触れることができ、大きなエネルギーをもらいました。彼だけでなく、きっといろんな場所で教え子達のそれぞれの人生があり、その人生を懸命に生きているんだろうなと思いを馳せることもできました。私も、「今を一生懸命生きています。」と胸を張って教え子達に伝えられるよう、頑張っていきたいと強く思った夏でした。